



# 白石高だより

第 3 1 9 号  
平成25年7月12日白石高校ホームページ<http://www3.saga-ed.jp/school/edq10018>

## 祝！インターハイ出場！

さる5月31日～6月3日に開催された佐賀県高校総合体育大会において、女子剣道部、男子剣道部の栗山滉平君（3年）、陸上競技部の平井見季さん（3年）内田梨絵さん（3年）、少林寺拳法の蒲地慧之君（3年）が見事インターハイへの出場権を獲得しました。

今回のインターハイは、福岡・長崎・大分・佐賀の北部九州4県で開催されます。剣道競技は佐賀で開催されるため、開催県からは団体2校、個人4人が出場できます。女子剣道部は、日ごろの稽古の成果を発揮して2位に輝き、インターハイ出場を決めました。男子個人では栗山君が3位に入り、出場権を勝ち取りました。

陸上競技では、県高校総体で6位入賞を果たした選手たちが北九州高校総体に進みました。平井さん、内田さんは3000Mで入賞を果たし、インターハイへの出場を決めました。

少林寺拳法は総体種目となって2年目です。蒲地君は、これまでも全国大会出場の経験があり、高校生活最後の総体で初めてのインターハイ出場を果たしました。

選手の皆さんの健闘を祈ります！



## ◇音楽部、全国高等学校総合文化祭へ出場！

8月に長崎県で開催される全国高等学校総合文化祭に、音楽部が佐賀県代表として参加することになりました。

昨年度の県総文祭の連合音楽会に出場し、その際、今回の全国総文祭への出場が決定しました。

体育部のインターハイに当たる全国総合文化祭。日ごろの練習の成果を発揮し、思い出に残るステージになることを願っています。



## ◇1, 3年生ボランティア活動(6月10日)

学校～肥前白石駅周辺の清掃活動を行いました。



## 新制服導入についてのお知らせ

本校の制服は、現行のものに制定して（平成3年度）すでに20年を経過しております。

そこで、平成29年度に「創立100周年」という節目を迎えるにあたり、制服検討委員会を設置し、歴史と伝統のある白石高校にふさわしい制服について協議を重ねてまいりました。昨年度実施した生徒・保護者対象のアンケートでは、上品、落ち着いた、清潔感のある制服で、洗濯機で洗え（ウオッシュャブル）、できれば形態安定、撥水・撥油などの機能をもたせてほしいといった御意見等をいただきました。御協力ありがとうございました。

現在、これらの御意見等も踏まえながら、来年度新入生からの新制服導入に向けて準備を進めているところです。何卒御理解の程よろしくお願いいたします。

## ◇教育相談講演会(6月19日)



去る6月19日に「こころの危機管理」と題して、本校カウンセラーの光武充雄先生による講演会を実施しました。先生は私たちの情動面に大きな働きと影響を与える脳の扁桃体について話され、いじめや恐怖が人の一生を苦しめるトラウマとなることを教えてくださいました。最後に「過去は変えられなくても、未来は変えられる」という言葉をいただきました。その時の生徒の感想文をいくつか紹介します。

○体の傷は癒えても、心の傷は一生消えない。私も他人からちょっとでもきつい言葉が言われたら、ずっとその言葉を頭の中で繰り返してしまって、なかなか忘れられない。言った本人はすぐ忘れるというからなんともやるせない。私は悩んだとき、大好きな宇宙を思い出す。悩んだときは人に相談するより星空を見上げることが私にとっての解決法だと改めてわかった。(1年)

○今日の先生のお話を聞いて、トラウマは怖いと思った。その人の人生を暗いものにしてしまい、可能性を奪ってしまう。だから、奪う側にも奪われる側にもならないように、周りを傷つけないようなストレス発散法で心を上手にコントロールしていきたいと思う。(1年)

○毎年このような講話を聞いて「今度から相手を傷つけないようにしよう」と反省しても、やっぱり傷つけるようなことを言うときがある。その時には、素直に謝ることが大事だと思う。意地を張っていると、そのことがいじめやけんかにつながりかねないので、相手が許してくれるまで謝るべきだと思う。先生のお話の中で、「嫌なことを言われても無視する」と言った女子高生の言葉がとてもかっこよく思えた。私も何か嫌なことがあったら、この方法で乗り越えたい。(2年)

○「肩パン」からいじめになったと聞いて驚いたが、そんな些細なことからいじめは始まるんだなと少し恐く感じた。不安を感じるということについて、部活動の試合の時を思い出した。不安な気持ちが出てくるのは、練習でこれ以上できないというところまで追い込んでおらず、準備が足りていなかったのだと思い至った。今日の講話で学んだことを今後にかかしていきたい。(3年)

○今まで何気なくやっていたことも、どこかで嫌がらせになってしまったり、不快に思われていたかもしれない。小集団でのちょっとした悪ふざけはよく目にするが、いじめに発展する可能性を持っているとわかって恐いなと思った。コミュニケーションについて話があったが、今まで周りと同じようにしないといけないとか、自分の個性を封じ込めていたような気がする。その場の空気に流されず、自分をしっかり持って、自分らしくこれからの人生を生きていきたいと思う。(3年)

## ◇熱中症予防講話(7月3日)

この夏を元気に乗り切るために、熱中症予防講話が行われました。  
今回は保健指導部でスライドを制作し、さまざまな工夫を凝らしながら、生徒への注意喚起と具体的な熱中症対策を指導しました。



## ◇ギャラリー～あの日 あのととき～ 高校総体編

